

## 地震発生時の対応について（取手校地）

### ■地震が起きたら

1. まず、自分の身の安全を確保
  - ・テーブルや机がある場合は、その下に身を隠し、頭を保護してください。  
ない場合は、着ている上着やかばんなどで頭を覆うようにしてください。
2. 落ち着いて行動を
  - ・とっさに外に出ると危険です。
  - ・揺れが収まるのを待ち、室内外の状況を確認してください。
  - ・書棚が倒れる、窓ガラスが割れる、上から物が落ちてくることがないかなどを注意するとともに、壁や天井等の状況にも十分注意してください。
3. 火の始末と消火
  - ・火を使っていたら、確実に火の始末をしてください。また、電源を落とす、ガスの元栓を閉めるなどの操作もしてください。
  - ・もし火災が発生しても、天井やカーテンに燃え移る前なら、あわてずに初期消火を行ってください。
4. 避難する
  - ・ドアや窓を開けて、避難口を確保してください。
  - ・足元を注意するだけでなく、落下物などの危険もあるので、外に出るときは周囲の状況を確認してから出てください。
  - ・エレベーターは使用しないでください。
  - ・避難する際は徒歩で、荷物は最小限のものにしてください。  
また、狭い道や塀ぎわを避け、がけや川べりには近寄らないでください。

★日頃から、建物の出入口や階段の位置、避難ルートや避難場所を確認しておきましょう。また、消火器がどこにあるかなども確認しておきましょう。

#### ◎エレベーターに乗っていた場合

- ・震度3～4程度以上の揺れを地震感知装置が感知すると、エレベーターは自動的に最寄の階に止まります。その階で降り、周囲に注意しながら階段で避難してください。
- ・もしも閉じ込められた場合は、エレベーター内にあるインターホンなどで外部に連絡してください。閉じ込められて不安でパニックになることがあるかもしれませんが、あわてずに落ち着いて救助を待ってください。

## 5. 協力しあって対応

- 部屋に閉じ込められたり、けがをしている人がいたら、大きな声で周囲に知らせ、安全を確かめ、協力して救出・救護活動をしましょう。その他、困難なことにはみんなで協力しあって対応しましょう。

## 6. 情報を確かめて

- テレビ、ラジオや防災無線などから正しい情報を得るようにしましょう。
- 警察や消防などから指示があるときは、その指示に従ってください。

★大学では備蓄品や防災用品等を用意していますが、予算等の問題などもあり、できることには限界があります。各自で非常時の際の準備を心がけておきましょう。

## ■避難場所

### 1. 一次避難場所（緊急避難）

#### ①メディア教育棟北側広場

（専門教育棟、メディア教育棟、共通工房棟、福利施設、利根川荘の利用者及びその近辺にいる者）

#### ②運動場

（大学美術館取手館、運動場の利用者及びその近辺にいる者）

### 2. 二次避難場所

被災状況により異なりますので、大学からの指示に従ってください。

#### ①学内

大学美術館取手館、福利施設、利根川荘、メディア教育棟

#### ②取手市指定の避難場所

旧小文間小学校、取手松陽高等学校

他に広域避難場所として、取手市南側の取手緑地（利根川堤防敷き）

## ■災害対策本部の設置

施設・設備の被害が甚大である、負傷者が出る、交通手段が確保できず、帰宅困難者が多数出るなど、緊急に避難や対応が必要なときは、取手校地内に災害対策本部を設置します。

- 本部は、建物の被害等がある場合を除き、通常はメディア教育棟1Fの事務室に設置する。
- 本部長は佐藤時啓（取手校地美術学部協議会委員長）とする。また各棟ごとに別表のとおり責任者を定めることとする。
- 本部は取手校地の学生・教職員等に対し、一斉放送、電話、口頭等により危険を広く周知し、避難を指示する他、随時、情報を提供する。
- 本部は取手校地内の被災状況や避難状況を把握するほか、地震情報、交通情報などを収集する。
- 本部は大学本部（上野）や取手市、関係機関との連絡を行う。

◎取手校地災害対策本部

本部長：佐藤時啓（取手校地美術学部協議会委員長）

各棟責任者

	責任者	副責任者
共通工房棟	工藤晴也（石材）	藺部秀徳（木材造形）
専門教育棟	押元一敏（デザイン）	藤原信幸（ガラス）
メディア教育棟	山城知佳子（先端）	表良樹（先端）
事務室	岩瀬昌三（室長）	金子貢（主任）

■緊急時連絡先

東京藝術大学取手校地

事務室	050-5525-2543	（内線7213）
守衛所	050-5525-2555	（内線7272）
保健室	050-5525-2547	（内線7231）
先端芸術表現科	050-5525-2595	（内線7420）
石材工房	050-5525-2640	（内線7409）
ガラス造形研究室	050-5525-2575	（内線7350）
木工芸研究室	050-5525-2577	（内線7352）
油画研究室	050-5525-2560	（内線7320）

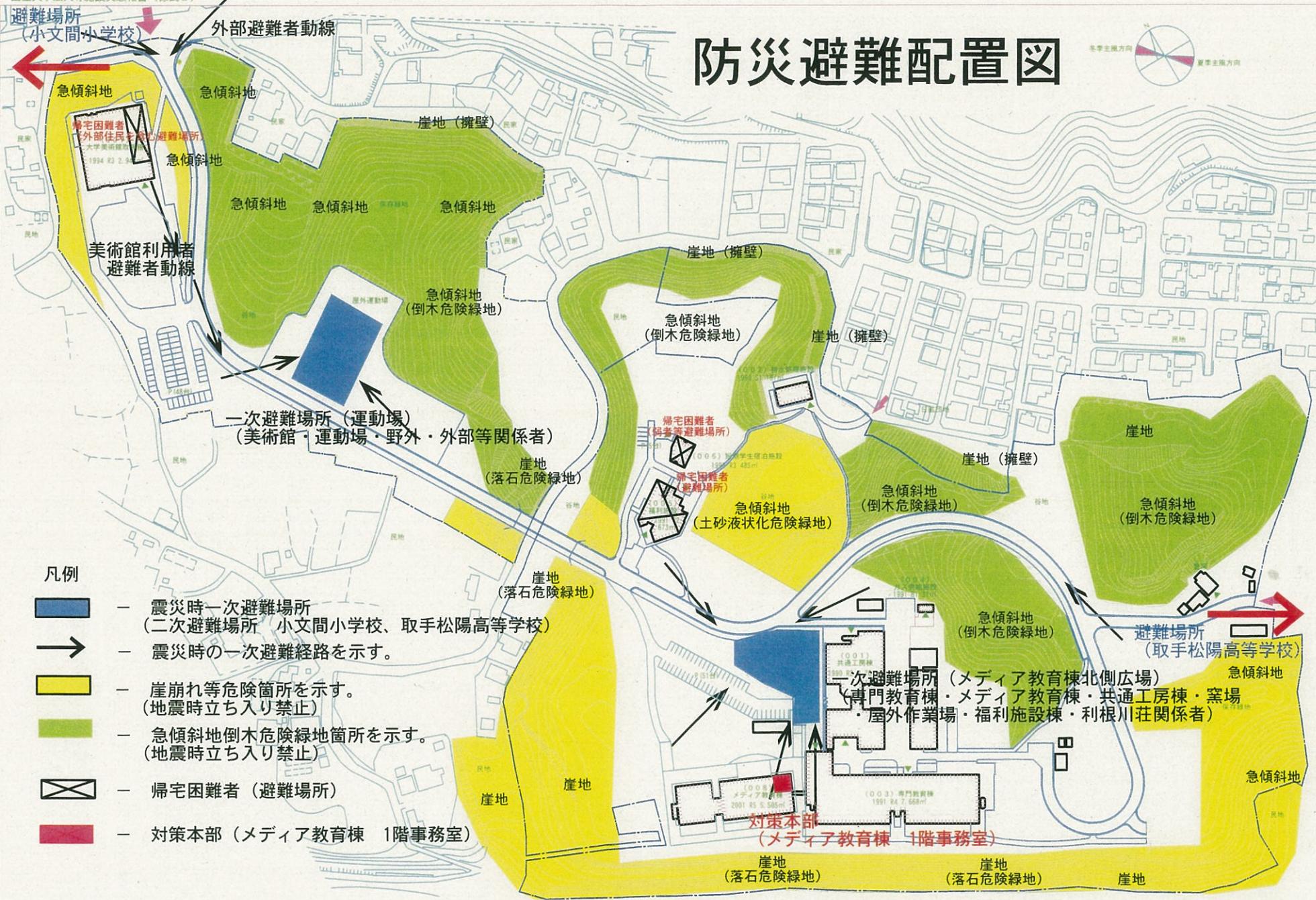
エレベーターのトラブル

0120-365-493（ジャパンエレベーターサービス）

警察	110
取手警察署	0297-77-0110
小文間駐在所	0297-70-0110
消防（火事・救急）	119
取手市消防本部	0297-74-0119
取手市消防署吉田分署	0297-74-1119

取手市役所	0297-74-2141
JR取手駅	050-2016-1600
大根交通バス	0297-62-5310
災害用伝言ダイヤル	171（利用方法の詳細はNTT東日本のホームページ等で）

# 防災避難配置図



### 凡例

-  震災時一次避難場所  
(二次避難場所 小文間小学校、取手松陽高等学校)
-  震災時の一次避難経路を示す。
-  崖崩れ等危険箇所を示す。  
(地震時立ち入り禁止)
-  急傾斜地倒木危険緑地箇所を示す。  
(地震時立ち入り禁止)
-  帰宅困難者(避難場所)
-  対策本部(メディア教育棟 1階事務室)